

風立ちぬ

第2号 令和4年4月22日(金)発行

文責 佐藤正人

カール・ユングという世界的に有名な心理学者が、「人生における幸福の五つの条件」ということを次のようにあげています。

「幸福の条件」

- 一、健康であること
- 二、ほどよい程度のお金を持っていること
- 三、美しいことを感じる力を持っていること
- 四、人と仲良くやっていく能力を持っていること
- 五、朝起きたとき、やる仕事があること

これは平凡なことですが、読むたび実に大切なことだと思います。

最初の「健康」、コロナ禍の今、皆さんが健康のありがたさを感じておられることと思います。**二番目**の「ほどよい程度のお金」この「ほどよい」とは、過ぎないということ、つまり多すぎもしないし、少なすぎてもいないということでしょう。多すぎればうぬぼれや傲慢さが生まれ、少なすぎれば他を嫉妬し、卑屈になりがちです。「オモうまい店」というテレビ番組がありますが、安くてボリュームたっぷりの食事を提供する皆さんは、「儲け？それよりお客さんの喜ぶ顔がみたい」と口々におっしゃっています。お金でも物でも有効に使ってこそ、生きた使い方というもの。「ほどよいお金」には考えさせられます。**三番目**の「美しいことを感じる力を持っていること」も確かに幸福の条件です。物を見たり聞いたりして、きれいだな、美しいなと「美」を感じられるのはありがたいことです。私たちは美しい物を見る目があり、きれいな音楽を聴く耳があり、人の優しさを感じる感覚が与えられています。**四番目**の「人と仲良くやっていく能力をもっていること」ですが、意地を張っていざこざばかり起こしている「わがまま」な人は、結局、心穏やかではいられない。こういう人はやはり幸福とは言えません。

最後の「朝起きた時、やる仕事があること」というのは、生きがいにつながります。生徒の皆さんに置き換えるなら、「やろうと意欲を燃やすものがあること」は幸せと考えていいと思います。

書きながら私は反省しています。私は自分のこういう幸福を感謝するより、ないもの、不足な物を数え上げ、不平不満を言うことが多かったと思うからです。私は時々「幸福の条件」を読み返し、感謝の気持ちを忘れぬようにと思っています。



田川駅伝大会5/10



伝統の田川駅伝が、5/10に実施の方向で準備が進められています。池田達弥監督を中心に男女19名が、「限界への挑戦」として自分を奮い立たせ、桜の花がきれいに咲く校庭で、励まし合いながら汗を流しています。



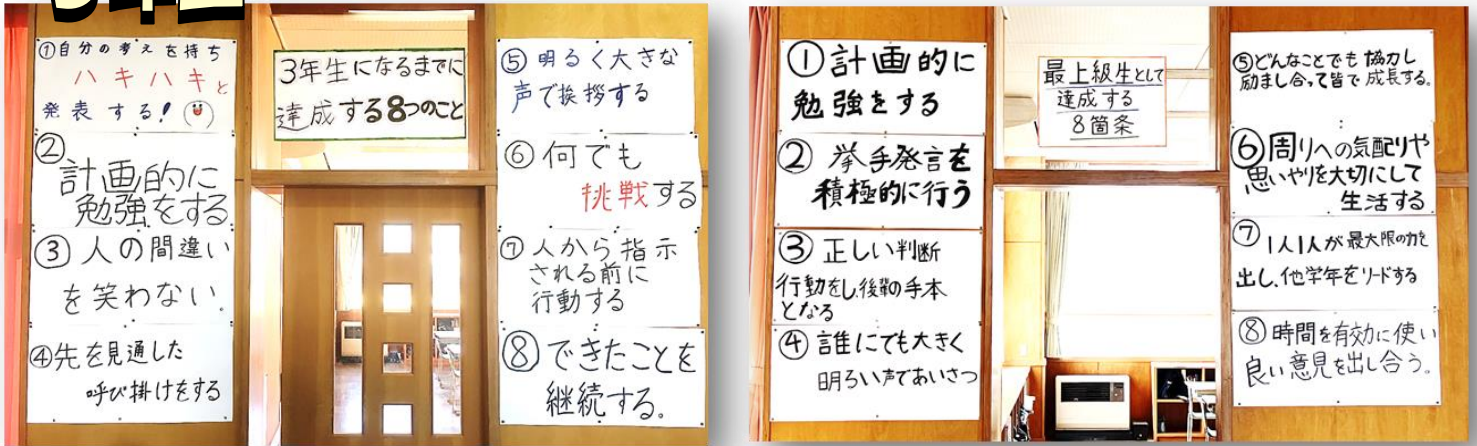
ペットボトルキャップ回収にご協力頂き、ありがとうございました

4月19日付けの生徒会だよりでもご報告いたしましたが、今年度ペットボトルキャップ回収を4月末で終了することとなりました。①近年のプラスチック使用量の削減の動き、②ボトルキャップの買い取り価格の下落、そのため③協力いただいた山形銀行様はじめ他の回収業者各社とも回収を終了する方向である。以上の理由から回収を終了とさせていただくことになりました。今後は、環境整備をはじめ地域の活性化に向けて取り組んで行くの方針が、立川中学校生徒会から出されました。



4月末をもって終了とさせていただきます

3年生



令和3年度

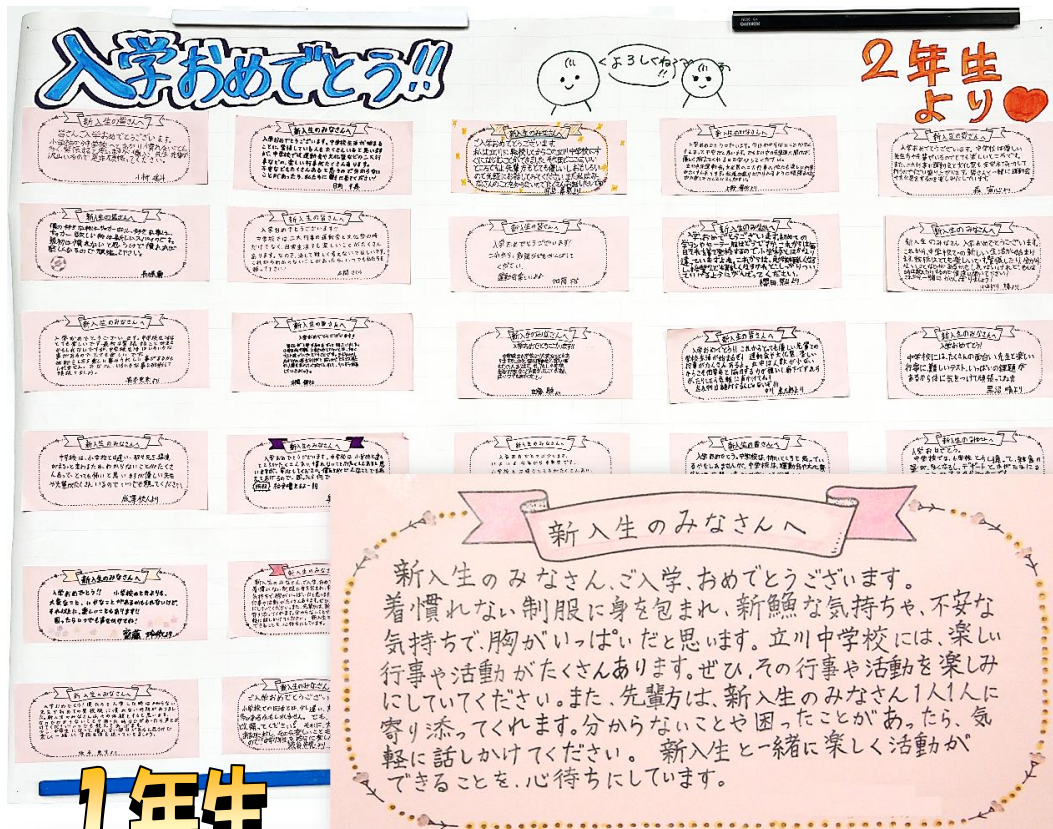


令和4年度

「3年生になるまでに達成する8つのこと」

「最上級生として達成する8箇条」

3年生は、リーダーとしての心構えづくりに昨年度来取り組んできました。今年度は最上級生として達成する8箇条を掲げ、全員で向かっています。毎朝元気よく挨拶を交わし1日をスタートさせている様子からも、新たな立中づくりを意識していることが伝わってきます。



2年生は、身長もぐっと伸び、会話や行動も大人っぽくなりました。同時に温かな心も育まれており、朝から教室は仲間同士の会話から、笑顔の花が校庭の桜のように満開です。左の写真は新入生に向けたメッセージです。

2年生



【4月8日のお弁当から】

1年生



1年生の給食準備風景です。2回3回と並び、仲間の給食も席に運んで来ています。要領を得たのか、日に日に手ぎわが良くなっています。黙食していますが、おいしそうに食べる顔が沢山見られ、嬉しいです。

